

きら☆サポ通信

発行：富士見丘小学校学校支援本部

平成 27 年 7 月 1 日 No.3

「きら☆サポ」とは、「きらきらひかる子供たち」を支える「きらきらひかるサポーター」という意味を込めた富士見丘小学校 学校支援本部の愛称です。

【6月の学校支援本部活動を紹介します】



プールのヤゴ救出大作戦！

水泳指導が始まる前のこの時期、プール清掃の排水とともに流されてしまうトンボのヤゴを少しでも助けるため3、4年生の活動として恒例になった「ヤゴ救出」。今年度は6月13日、土曜授業（学校公開一いのちの授業）として行われました。おとさんずをはじめ18人の保護者・地域の方のご協力があり、児童が安全に活動するためのサポートや用具の準備・片づけと大活躍でした。

予想外だったのは力の飛来！事前に水を抜いて30センチ程度に水位を下げたことで格好の餌場になったのでしょうか。6月上旬には確かに生息していたギンヤンマのヤゴが、当日は1匹も発見できず残念でした。来年は対策を考えたいと思います。



1年生の体育授業にゲストティーチャー

6月10日と17日の2回、1年生体育「マット運動」の授業にゲストをお招きし、前転の指導をしていただきました。普段のお仕事はスポーツクラブのインストラクター。優しくて厳しい先生です。念入りな準備運動で体を柔らかくした後、まずは横向きでコロコロ回転。それから手をついてカエルのようにピョン。マットに慣れた頃、一人ずつ補助を受けながら前転に挑戦しました。体操選手のようにシャキーンとポーズをきめてから、手をつく位置を確認し、体を丸くするためにおへそを見ながら前転！全員クリアできました。



3年生の演劇ワークショップ

6月23日、俳優や劇作家など総勢12名（見学2名）の演劇関係者が来校し、3年生を対象にワークショップを行いました。様々なウォーミングアップで体をいっぱい使っての集団づくり、小グループで話し合いをしての身体創作。目的は本校が特色ある教育活動として掲げているコミュニケーション能力の育成です。集団の中でどのような行動をとればお互いを理解し良好な関係を結ぶことができるのか。異なる意見があった場合にどう折り合いをつけるか。他者との関係性を意識しながら自分の考えを伝え行動するという難しい課題に果敢に取り組む3年生でした。



竹の中に、「かぐやひめ」はいなかった…？

七夕集会の準備のため、先生方と一緒にリヤカーを引いて笹を探りに行きました。場所は浴風会。「笹を切らせてください！」というお願いを、毎年快くOKしてくださいます。富士見丘小学校のまわりには、学校の活動を理解し支えてくださるたくさん的人がいます。

【学校支援本部】メールは→fujimishoushien@bz03.plala.or.jp

電話・FAXは→03-5941-8967

「きら☆サポ通信」は富士見丘小学校学校支援本部の活動をお伝えします。